

子宮頸部円錐切除術後妊娠における早産予測因子の解明に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター産婦人科では、「子宮頸部円錐切除術後妊娠における早産予測因子の解明」に参加することになりました。この研究の目的は、子宮頸部円錐切除後妊娠の患者さんの妊娠・分娩経過を調べて、円錐切除がどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2013年1月より2019年12月末までに分娩した方の子宮頸部円錐切除術に関する情報（診断名、円錐切除術の方法など）や妊娠分娩に関連する情報（分娩週数、出生体重など）で分娩後に診療録（カルテ）に保存されている情報の調査を行います。対象となるのは子宮頸部円錐切除で治療を行った後に妊娠・出産された方で、調査項目は個人情報を含まない上記の医学的な情報のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の代表であります慶應義塾大学医学部産婦人科学教室にUSBフラッシュメモリに記録され、郵送にて送付され厳重に管理されます。本研究における他の参加施設情報については別紙をご覧ください。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2021年2月

研究責任者

東京医療センター 産婦人科

山下 博

連絡先 03-3411-0111(代表)

「子宮頸部円錐切除術後妊娠における早産予測因子の解明」
に参加する施設一覧

共同研究機関	研究責任者
慶應義塾大学医学部産婦人科学教室（主機関）	春日義史
那須赤十字病院産婦人科	白石 悟
済生会宇都宮病院産婦人科	飯田俊彦
国立病院機構栃木医療センター	菊地正晃
足利赤十字病院産婦人科	隅田能雄
太田記念病院産婦人科	寺西貴英
国立病院機構埼玉病院産婦人科	中川博之
さいたま市立病院産婦人科	矢久保和美
けいゆう病院産婦人科	荒瀬 透
済生会横浜市東部病院産婦人科	秋葉靖雄
川崎市立川崎病院産婦人科	中田さくら
平塚市民病院産婦人科	笠井健児
静岡市立清水病院産婦人科	岩崎真也
静岡赤十字病院産婦人科	根本泰子
国家公務員共済組合連合会立川病院産婦人科	平尾薫丸
稲城市立病院産婦人科	櫻井信行
荻窪病院産婦人科	吉田宏之
永寿総合病院産婦人科	小田英之
済生会中央病院産婦人科	岸 郁子
東京歯科大学市川総合病院産婦人科	高松 潔
東京衛生アドベンチスト病院産婦人科	原 澄子
聖母病院産婦人科	宮越 敬
日野市立病院産婦人科	田島泰宏
練馬総合病院産婦人科	田邊清男